

2016.5.31

SAN-EI

取扱説明書

セパレート式卓球台 AP-275

●この取扱説明書は大切に保管して下さい●

このたびは本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱い下さいませようお願いします。

下記事項に起因する故障等の異常に付いては保証できない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

- ・無断で改造した場合。
- ・対象外の使用者が使用した場合。
- ・管理者及び使用者の故意または過失による場合。
- ・安全点検を怠った場合。
- ・本紙に明記されている以外の方法で使用された場合。
- ・地震、火災、水害等の災害による場合。
- ・使用中に生じる外観上の変化（塗装の劣化・はがれ・キズ・汚れなど）
- ・本製品および梱包材を廃棄する場合は、各自自治体の条例などにしたがって廃棄して下さい。特にビニール袋などは放置したままにすると、子供ががらびて遊ぶなどして、死亡事故につながる恐れがあります。



株式会社 三英

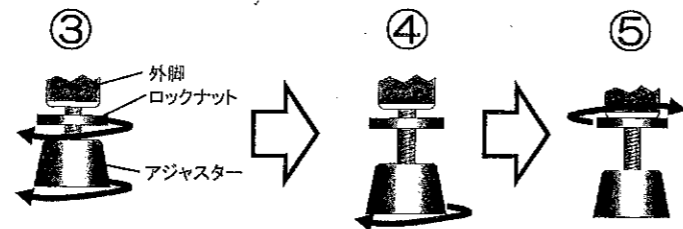
〒270-0114 千葉県流山市東初石 6-182-1(新 C69 街区 7)
TEL:04-7154-4661 FAX:04-7154-4665

アジャスターの調節方法

「アジャスター」とは、裏面図面中◎を示します。



作業は大人の方2名以上でおこなって下さい



- 本製品には天板を水平にする目的で『アジャスター』が取り付けられています。卓球台を初めてお使いになる場合に調節すると、以後はユルミが発生しない限りは調節は不要です。
- 調節をしないと天板が水平に保たれず、卓球台が不安定になるばかりでなく、アジャスターや卓球台の破損につながる恐れがありますので、必ず調節して下さい。
- ①『設置のしかた』を参照の上、卓球台を設置状態にします。
- ②1名が『天板・枠板』部分を持ち『外脚』が床面より若干浮く程度に持ち上げます。卓球台を前後左右に動かさないように、また以降の作業中に、もう1名の方が、指などをはさまないように卓球台をしっかりと保持して下さい。
- ③外脚が浮いた状態で、もう1名が『アジャスター』『ロックナット』を、共に左回りに回してゆるめます。
- ④『アジャスター』のみ左回りに回して『天板』が水平状態になるように調節します。
- ⑤水平になったことを確認して『アジャスター』が回転しないように押さえながら『ロックナット』のみを、右回り回し、止まるまで締め付けます。
- ※形状は機種により異なります。



移動・設置・収納は必ず同じ体力の大人の方2名でおこなって下さい

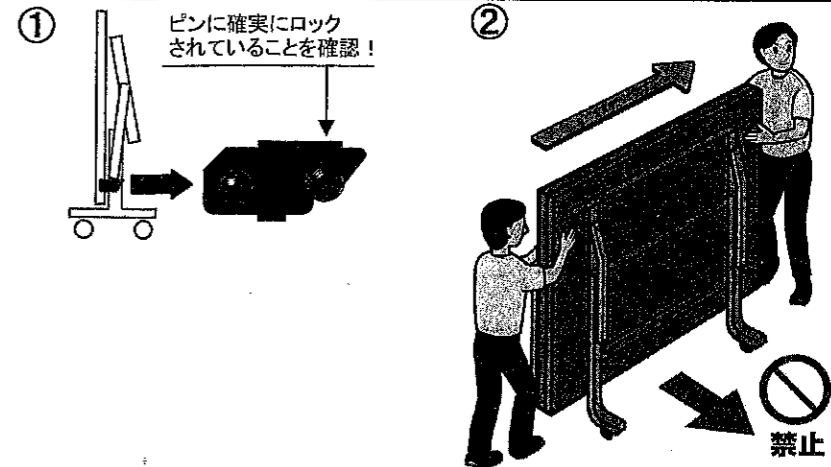
- 収納時ストッパー・使用時ストッパーは、間違った使い方をすると大変に危険です。裏面の注意事項をお読みください。
- 移動・設置・収納は、周囲に子供や部外者などがいないかよく確認して下さい。
- 移動・設置・収納は、周囲の床面が平坦である事を確認して下さい。ごみや異物・段差・他の競技に使用する床金具などがある場合、キャストの車輪回転が抑制され、作業に支障をきたす恐れがあり大変に危険ですので、ごみや異物を取り除く・場所を移動するなどして下さい。また畳やジュウタン・カーペットなど、柔らかい床面でも同様の状況が発生する場合がありますので、その様な場所での使用を避けて下さい。
- 移動時に、器具庫などの出入り口や段差がある場所を通過する際は、キャストが引っかかりキャストや卓球台の破損につながるばかりでなく、卓球台が転倒する場合があります。段差を無くす処置を講じるなどの対応をして下さい。

移動のしかた



必ず同じ体力の大人の方2名でおこなって下さい

- ①収納時ストッパーがロックされている事を確認する。
- ②天板・枠板の外側部を持ち、2名同時に同じ程度の力でゆっくりと長手(図)の方向に移動させる。
※横方向の移動は卓球台が転倒する危険性があります。また傾斜部を移動する場合、速度があがったり、卓球台が転倒する場合があります。そのような場所での移動はおやめ下さい。
※必ず天板・枠板(図の位置)をもって移動する。天板の内側・脚部・連結部などを持って移動した場合、手や指をはさむ危険性があります。
※特に進行方向前方にいる人は、後ろ向きになりますので足元に注意しキャストが足の上になる事が無いように注意して下さい。
※後ろから押す人も、前方の人の様子を確認しながらゆっくりと押すようにして下さい。

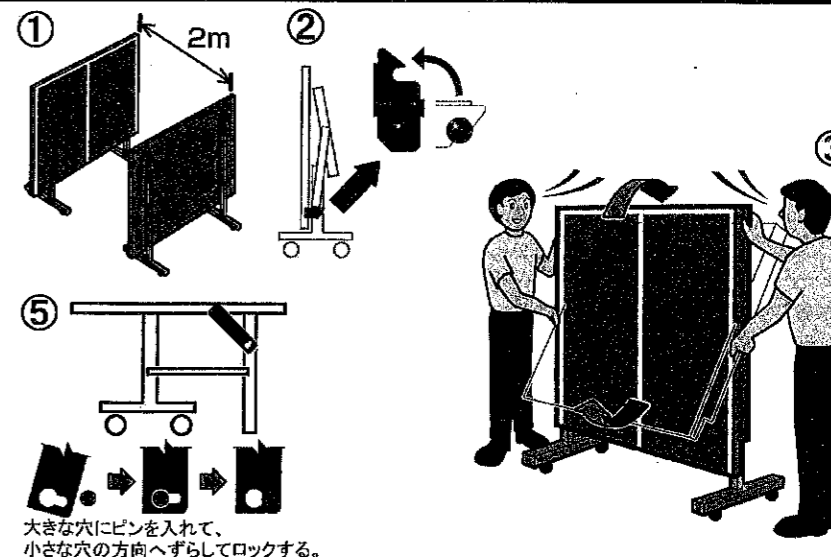


設置のしかた



必ず同じ体力の大人の方2名でおこなって下さい

- ①卓球台をひらいてぶつからない位置まで(約2m程度)卓球2名でゆっくりと動かす。
- ②収納時ストッパーを解除する。
- ③天板・枠板を持ち、声を掛け合って息を合わせ、外脚のアジャスターが床面に付くまでゆっくりおろす。
勢いをつけておろすと、卓球台が身体に触れる事によるケガや、卓球台・床面が破損する原因につながります。
- ④天板が水平で、がたつきが無い事を確認する。天板が水平でない場合は、「アジャスターの調節方法」を参照の上、アジャスターを調節する。
- ⑤使用時ストッパーをロックする。
- ⑥1つの台を2名でしっかりと保持しながら、片方の台に、ゆっくりと近づけ、天板を合わせる。
- ⑦ストッパー付キャストは、ストッパーをかける。
- ⑧ネット・サポートを取り付ける。
この際、天板の上ののったり体重をかけないこと。

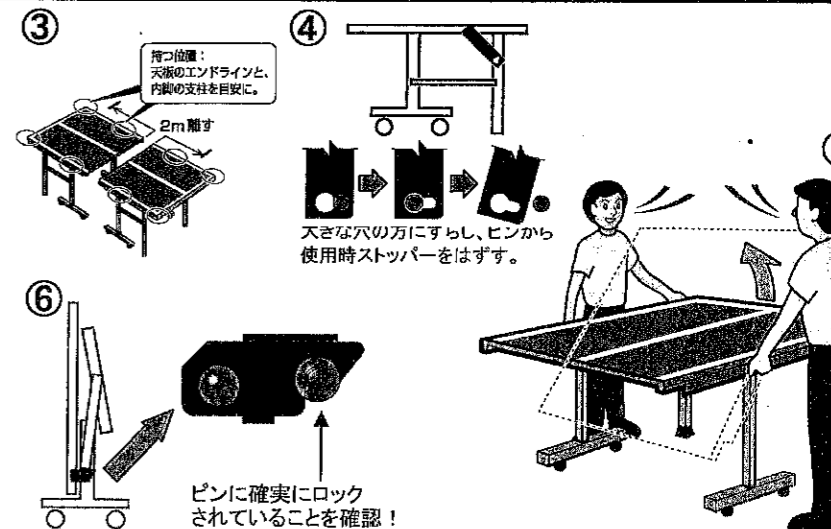


収納のしかた



必ず同じ体力の大人の方2名でおこなって下さい

- ①ネット・サポートを取り外す。
この際、天板の上ののったり体重をかけないこと。
- ②ストッパー付キャストは、ストッパーを解除する。
- ③各々の台が収納作業のときにぶつからないように、約2m以上離す。(卓球台が倒れない様2名でゆっくりと動かす)
- ④使用時ストッパーを解除する。(1名は卓球台を支え、1名が使用時ストッパーを解除して下さい。)
- ⑤天板・枠板を持ち、声を掛け合って息を合わせ、ゆっくりと持ち上げる。
勢いをつけて押すと卓球台が転倒する恐れがあります。
- ⑥収納時ストッパーは、卓球台を収納すると自動的にロックします。ピンに確実にロックされている事を確認する。(ロックされていない場合は、手でロックして下さい。)



警告・注意事項

誤った使い方は軽傷・重傷または死亡事故につながる恐れがあります。

- ご使用になる前に適切な管理者を決めて下さい。
- 卓球台は大きく重量があり、誤った使い方をすると、死亡あるいは重軽傷を負う事故につながる恐れがありますので、本書をよくお読みになり理解された上でご使用すること。
- 本製品を卓球の目的以外に使用しないこと。
- 移動・設置・収納は、必ず同じ体力を持つ大人2名でおこない子供・生徒・高齢者だけでしないこと。
- 使用者は管理者から指導を受けてから使用すること。
- 使用する前は安全点検表に沿った点検をおこない異常が見られた場合には使用しないこと。
- 管理者は使用前に取扱説明書をよく読み、使用者に対し卓球台の使い方を指導すること。
また子供・生徒・高齢者・部外者だけの使用が予測される・長期間卓球台を使用しない・破損等により使用できない・管理者の目が届かない状態になる場合などは、『使用禁止』等の表示をした上で、安全に保管ができるように処置を講じること。
- 天板は乾いたやわらかい布でふくこと。
- 塗装のはがれはサビを取り除き、ラッカー系の塗装で補修すること。
- 連結部や天板の合わせ目などは、指や手などを挟み込む可能性があります。正しい方法で使用すること。
- 卓球台に腰掛ける、のぼる、もぐるなどしないこと。
- ラケット、ボール以外の重い物を置かないこと。
- ネット・サポートの取り付け、取り外しは、卓球台の上に手をついたり体重をかけたりしないこと。
- 【警告】【注意】の表示がある場合は表示内容に従うこと。
- 本製品は屋内用です。屋外で使用しないこと。
- 必ず折りたたんだ状態で、直射日光のあたらない湿度の低い場所に保管すること。
- 本書内容でおわかりにならない部分がありましたら、当社までお問い合わせ下さい。

